

# 文化財鑑賞で、臼杵に行ってきました。

～臼杵磨崖仏、臼杵市歴史資料館、二王座～



11月2日（金）美術科全員でバスを貸切り、臼杵方面へ文化財の鑑賞に行ってきました。

まずは、「国宝」指定されている臼杵磨崖仏。（国宝指定は九州では唯一）平安時代から鎌倉時代にかけて制作されたとされる石仏群で、この一帯が、国の「特別史跡」にも指定されているものです。文化財保護のため、屋根を修復中の箇所もありましたが、仏師を呼ぶだけあった財力や信仰を今に伝える造形のすごさを間のあたりにしました。

また、短い時間でしたが、国宝を前にスケッチを実施しました。昼食をとりながらのスケッチでしたが、生徒が感じた臼杵を表現することができました。



次に向かったのは、臼杵市歴史資料館。臼杵から全国に名をとどろかせた郷土の偉人の技を知ることができました。サッカー日本代表のユニフォームにもある八咫鳥（やたがらす）をデザインした日名子実三。朝倉文夫に師事しましたが、その後、袂を分かち、制作を続けた人です。資料館の方より詳しく説明も戴くことで、実感をもって作品を鑑賞することができました。



最後に向かったのは、二王座の町並み散策。歴史を今に伝える細い通り。張りの木材がむき出しな屋内で、ゆったりすることもできました。城下町の面影を堪能することができました。またこの日は、臼杵竹宵の準備中でもあり、そこかしこに竹が切り出された材料が並べられていました。

